



やまばと

2019年7月発行 山鳩同窓会会報 第33号

山鳩同窓会事務局

〒990-0034

山形市東原町 2-3-26 東原幼稚園内

TEL : 023-622-4789

FAX : 023-622-4790

HP <http://higasi.holy.jp/>

ブログ <http://higashiharakids.blog.fc2.com/>

何事でも、自分にしてもらいたいことは、

ほかの人にもそのようにしなさい。

聖書

新しい人工芝も敷かれ、子どもたちの人気のエリアです。



アンパンマンが、
パワーアップして
東原幼稚園に
戻って来ました！



特集 スポーツと私

山鳩同窓会のみなさまお元気ですか？新一年生の皆さんはじめ、それぞれ進級された皆さんも、気がつけばもう夏休みですね。一人ひとりの1学期の生活が支えられて夏休みを迎えられたことと存じます。夏休みの日々が豊かなものになりますようお祈り申し上げます。

さて、今年度の同窓会会報のテーマは、来年日本で開催されるオリンピックにちなんで「スポーツ・運動と私」です。東原幼稚園でたくさん遊んだことが、楽しく体を動かすこと、スポーツを楽しむ原点となっているといいな、と思います。先日開催された、幼稚園の保護者会講演会では、講師の山形大学教授の大森桂先生が、健康の3要素は「食べる（栄養）・体を動かす（運動）・眠るや休む（休養）」とおっしゃっていました。あまりスポーツが好きではない人も、これを機にスポーツを観戦したり、ちょっと体を動かすなど挑戦してみると、今までとは違った世界が広がるかもしれませんね。

（山鳩同窓会名誉会長 阿部 嘉久 代筆 副会長 栗野桂子）

【2019年度の同窓会行事予定】

- ★ ファミリーフェロシップ... 10月5日（土）10：00～13：00
- ★ 山鳩同窓会クリスマス祝会... 12月7日（土）10：00～受付
- ★ 2019年度同窓会入会式... 2020年3月19日（木）

ファミリーフェロシップ

10月5日（土）午前10時から12時まで、東原幼稚園にて
同窓会の受付で、わたあめ引換券を差し上げます。ぜひ、お越しください！

★ 幼稚園卒園おめでとう 「大きくなったら、なにになりたい？」★

いいいたかはる JAXAはいりたい	いいいとき はいしゃ	うらのしんや パパとおなじごとがしたい	おがわそう おいしゃさん
ごとうはるせ ユーチューバー	いたはなゆうと かめんライダー	かつまたゆいと きょうりゅうはかせ	かとうゆう じっけんがすごいひとになりたい
しぶやこうへい くるまでうんてんするひと	きたはらゆうと おいしゃさん	じんのうあみ かんごしさん	ごとうみちる あかちゃんうむひと
たかだこうすけ 仮面ライダーゲイツ	くつざわじょうじ りょうし	たんのりゅうが 美容師	こばやしかいしん けいさつかん
ちぢみあおい ほんやさん	しんどうほほえ あいすくりーむやさん	にしやまきいち パイロット	こまつのぶひろ おとうさんみたいな歯医者さん
ふるかわきはね きめてない	すとうはるき さっかーせんしゅ	みなみりんたろう ママ	ひだかおうすけ べにちゃんばすのうんてんしゅ
なががわかえで パティシエ	ふかさわあさひ アイドル	よしずみそうま おみせやさん おいしゃさん	おくのてっぺい 卓球の選手

おめでとうございます！

祝ご成人

2004年度

(55回卒)

きむら けいご
くぼた まなさ
まえしま たかと
はしぎか ひかる
いちむら りかこ
あきば たいりく
あびこ たかや
あびこ るか
おおた ももこ
おのづか ゆうせい
かわさき たろう
くまがい たくろう
こしば あやな
さとう せかい
なかつ ゆうた
ひがしね けいすけ
まつだ ちか
まつだ りんこ
もぎ かりん
もりや こうじ
よこかわ まゆこ
わたなべ たけし
きよづか ゆきひろ
ありかわ まさのぶ
いからし りな
いしづか みつき
えんどう なおき
おおさき はやみ
おおた ななか
ささき りょうと
ささはら あすか
さとう こうた
さとう のぞみ

すがい ゆう
すがわら ゆうたろう
すずき ゆり
ひらさわ のりか
ほし あかね
みなもと ももこ
やの あやな
よしおか めい
わたなべ りお
クースティン たかよし
きしがみ ももこ
ほんま たいき
かなざわ かえで
しょうじ ゆうき

祝中学校卒業

2009年度

(60回卒)

いたがき ゆうと
くにい はな
さいとう ナオミ
すずき たいよう
たかはし あかり
たまき みさと
さくらい ちぐさ
いわもと たける
おおるい まな
あおやぎ まゆ
いいだ ころろ
いしやま たろう
おおかぜ たかや
おおたき ひろゆき
おおば ゆうと
おのづか せいる

しばた りお
ちぢみ ほのか
はたけやま だいき
ひがしね ちなつ
わたなべ あや
わたなべ まどか
しまぬき ゆい
おの かんた
わたなべ ひろと
いわぶち こうへい
さとう みさき
すずき かい
ごとう せいこう
みぞこし さやと
みやもと えまり
こんどう あさひ
こんどう あやね
さとう りょうすけ
みやざき ひなた
すずき だいち
のざわ しゅういちろう

祝小学校卒業

2012年度

(63回卒)

さとう しんご
たかはし なおき
おかべ ひより
こんの ゆうじ
こまつ あんな
のざわ りゅうのすけ
いとう えま
うえだ ともひと

おおたき みおな
おおたに みずき
さくらい まお
すずき ひろと
すなだ まりこ
せいの ももか
たかはし りいち
ちかおか ゆうき
ちぢみ はると
まえの せお
みなみ あかり
いけだ みずき
いしこう りお
いまがわ れいや
かわごえ りお
さかい ゆずと
たんの あやね
ちば はると
にいぜき りゅうじん
まつだ みう
やまうち みのり
ぐんじ あい
すずき あずま
ありま かいと
せんざき るな
わたなべ ゆうか



リレーのせんしゅにえらばれて

神保 圭佑 （2016 年度卒）

ぼくは体を動かすことが大好きです。コスモスポーツクラブもようち園のときからずっとつづけています。小学校に入ってから運動会で毎年リレーのせんしゅにえらばれています。今年で3回目です。1・2年生のときはぼくのチームはゆうしょうできなかったのですが、「今年はぜったいかなりたい！！」というきもちで走りました。そしたら、ぼくのチームが1位でゴールできて、とてもうれしかったです。

れん習はたいへんだったけど、しんけんにやったのでゆうしょうできたんだなと思いました。これからも、リレーせんしゅになれるようにがんばりたいです。

スポーツと共に歩んで

櫻井 真央 （2012 年度卒）

僕は、コスモスポーツクラブを通し、仲間と切磋琢磨しながらスポーツをがんばってきました。自分を振り返って印象に残っている出来事を紹介します。

一つ目は全国ドッジボール大会です。これまで、何回も地区のドッジボール大会には出場していましたが、全国大会に出場したのはわずか2回でした。僕の最後のドッジボール大会でもあったので当日は言葉に表せないくらい緊張していました。結果は1位、とてもうれしかったです。これを通して思ったことがあります。それはチームの一体感です。スポーツで交流をしていくうちに、自分で気づいていなくても勝手に仲間とのきずなが生まれたりするのです。ぜひ、チームプレーのスポーツを嫌がらず、やってみてください。

二つ目は自分ができるスポーツが増えたことです。小さい時から体を動かしていた僕は走るのが大好きでした。おかげで足やこしがきたえられ、テニス・バスケ・たっきゅうなど、とても楽しむことができます。現在、僕は中学1年生になり、バトミントン部にはいりました。ストレッチ講習会では、「君、筋肉柔らかいね。」と先生に言われ、スポーツをやったかいがあったなと思いました。スポーツを続けていく上で最も大切なこと、それは、技術でも努力でもなく、本当に楽しいと思えるかです。自分が楽しくないと思えば長く続けることはできません。楽しいと思えば自分から意欲的にすることになり、やがて技術などがついてくるのです。僕がバトミントンを始めようと思ったきっかけも、楽しかったからです。まずは何事にも挑戦する事です。実際、目で見ても、その本当の楽しさはなかなか感じられません。体で感じ初めてその良さがわかります。これからもスポーツを楽しんでいきたいです。

私とスポーツ

大類愛菜 （2009年度卒）

私は、この春上山明新館高校に入学し女子ソフトボール部のマネージャーになりました。きっかけはマネージャーになりたいと思ったからです。とは言ってもソフトボールの知識は全くありません。ですのでマネージャーの仕事は想像以上に大変で疲れますが、先輩やチームメイトが優しく接してくれるので何とか毎日こなしています。

この前、県大会があり明新館高校は強豪校でしたが、残念ながら3位に終わりました。先輩達は落胆し、またこれまで応援してきた保護者の方々も非常にかっかりしていました。私たち1年

生も3年生の活躍が見れないのはとても残念です。私もマネージャーながら一生懸命応援しましたが残念ながら負けてしまいました。どうしたら気持ちを切り替えることができるか考えました。マネージャーとしてできることは、練習をスムーズに進められるように全力で取り組むことだと思います。

この前、学校で百人合宿がありました。百人合宿とは複数の県外の高校のソフトボール部が集まって試合を行う合宿です。3日間で色々なチームと対戦しました、保護者の方々が料理や審判をしてくださり手伝っていただきました。合宿中は一緒にいる時間が長いので選手のプレーをじっくり見ることができました。

スポーツは楽しい時も厳しい時もありますが、マネージャーとして選手を応援し、練習に専念できる環境を作り支えたいと思います。

ダンスと私

木村 芽生 （1996年度卒）

今回のテーマが「スポーツ」ということで、私にとってのスポーツは「ダンス」になります。音楽に合わせて体を動かすダンスは本当に楽しく運動できるもの、ということでダンスは私にとってスポーツなのです。

幼い頃からダンスを習い始め、今は仕事として子供達に指導させてもらっています。数十年ダンスを続けていますが、私は子供の頃からステージの上や沢山の人がいる前で踊ったりすることが好きでした。そういうステージに上がるという目標があると日々の練習にもより力が入ります。ステージの上で踊った楽しかった気持ちや沢山の人の前で踊りたいという気持ちが、今もダンスを続けている理由だと思います。

ダンスは誰かと一緒に踊ると楽しいです。子供達へのレッスンでダンスの振り付けを作る時も仲間と踊って楽しめるような振り付けを工夫して作っています。子供達が笑顔で踊っていると、一緒に踊っている私もとても楽しくなります。子供達がこれからも踊っていて楽しいと思ってくれたら嬉しいです。これからの目標は自分のダンスパフォーマンスの技術をもっと成長させ、振り付けやダンスで色々なことにチャレンジしていこうと思っています。

スポーツに必要な不可欠なもの

三坂麻紀 （2014年度卒三坂愛莉ちゃん・2017年度卒三坂悠馬くんのお母さん）

中学まで吹奏楽部に所属していた私が、高校から女子サッカー部に入部。それから早20年、二児の母となった現在もレフリー時々プレイヤーとしてサッカーフィールドを走り回っています。

試合に欠かせない審判員に目を向けたことはありますか？

ただ試合に行って、笛を吹けばいいのではないのです。

笛を吹くにも、判断・決断をする← そのためにボール(選手)を追いかけるように走る

← そのために競技規則を覚え、走カトレーニングをする

他にも色々ありますが、どんなに準備をしても、試合ではいつ何が起こるかわからず、それを一瞬で判断しなければいけないので、相当なプレッシャーがかかります。

それでも試合に足が向くのは、スポーツから得られる楽しみ・喜びを知っているから。

大好きなスポーツをもっと楽しむために、胸にとどめてほしいこと。

互いを「大切に思うこと(=リスペクト)」

一つの大会(試合)には、運営する人、会場を準備する人、審判員、選手、チーム関係者、サポーター(支えてくれる家族)... こんなにも大勢の人たちが関わって成立しています。すべてがあって今自分がスポーツを楽しめているということを感じてほしいと思います。

選手から審判員として、審判員を育てるインストラクターとして、サッカーとの関わり方が変わっても、歳を重ねても、ずっと続けていきたいです。

みなさんも「enjoy sports！」

送り出してくれる家族に、関わりのあるすべての人に、感謝を込めて。

« JFA(日本サッカー協会)のバリュー»

エンジョイ スポーツの楽しさと喜びを原点とすること
プレーヤーズファースト 選手にとっての最善を考えること
フェア オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと
チャレンジ 成長への高い志と情熱で挑戦を続けること
リスペクト 関わりのあるすべてを大切に思うこと



千歳山と私

岩瀬吉廣 (1987年度卒岩瀬千絵さん・1985年度卒岩瀬雄一君のお父さん)

子どもの頃から親しんで来た山が千歳山である。私達の普段の生活を優しくそっと包んでくれるような山だ。山形のシンボルと言っても良い。

残念に思うことがある。それは5、6年前くらいから松くい虫で松枯れが進行したために行われた、二千本以上の松やミズナラなどの木々の伐採である。松島・象潟と共に「みちのく三大松」に数えられた姿は見る影もない。

麓の萬松寺には阿古耶姫と松の精の悲恋の石碑がある。だが、その昔話を話す人はまずいない。千歳山の登山コースは大きく分けても三つある。① 稲荷神社コース② 萬松寺コース③ 千歳山公園コースである。私は年間を通し、三百回以上は登っているが、マンネリ化しないように時々コースを替えている。私は28年間東北・関東の山々を千座近く登っているが、千歳山の魅力は素晴らしい。登っていると季節毎の変化、特に花々が時折迎えてくれるのが嬉しい。山桜・タムシバ・春蘭・シヤガ・姫小百合・山百合など30種を下回らない。少し心の方向を変えれば、センナリ・オトギリ草・オケラ・ツルリンドウなどの薬草やシジュウカラ・ヤマガラ・ウグイス・オオルリなどの小鳥のさえずりも心を癒やしてくれる。つい川柳を口ずさむ。「さえずりも心を癒す山の道」「すっきりと心の掃除山登り」。山はただひたすら登るだけでも充分であるが、色々の知識を身に付けるとその愉しさは倍増するというものである。

今年も(令和元年)暑くなりそうだ。低山の中に入る千歳山は、夏場は太陽光線が厳しく、早朝(AM5時~7時)に登り、熱中症対策をしている。毎日千歳山に登っていると時折吹く風は人工的ではでない。自然の爽快感につくづく有り難さを感じる。私はいつも登らせてもらっている千歳山と山にも登れる身体に生んでくれた両親に「有難う」を言いたい。座右の銘がある。「ゆっくり登ることはゆったり生きること 急ぐ可からず 今更に」である。

東原幼稚園さんで体操指導をさせて頂いて16年目を迎えました。この16年間で変わらず大切に行っている事は、スポーツ（運動）を楽しんでもらい、好きになってもらうという事です。スポーツ（運動）というのは、体を鍛える事はもちろんですが、心も育ててくれます。小学校から高校まで体育の授業があり、部活では運動部という選択肢もあります。子供たちが大人へと成長していく中で、避けては通れないものでもあり、子供達を大きく成長させてくれるものです。『スポーツが嫌い』、『運動が苦手』という感情や固定概念を持ってしまっただけは、非常にもったいない！！ですので、今回はスポーツ（運動）を好きになってもらう為のコツをいくつか紹介致します。

① 子供が出来る簡単な課題与え、褒める。

出来ないことや、難しい事をやらせる事ほど、つまらない事はありません。まずは、子供がクリア出来る簡単な課題を与えて、出来た事を周りの大人が褒めて、成功体験を実感させてあげる事がスタートです。

② 周りの子と比べず、その子のできた事を本気で褒める

出来ない事への劣等感から練習する。出来るようになりたいから練習する。これができる人は、本当に心の強い人です。しかし、この強い気持ちを持つ事の出来るタイミングというのは一人一人違い、必ずしも備わるとは限らないものです。まずは、それぞれの出来た事に自信が持てるよう、周りの子供とは比べず、その子のできた事を本気で褒めてあげましょう！

まずは、この①と②の繰り返しです。これを繰り返していると、スポーツ（運動）が好きになってきます。

子供達を囲む環境が、いかに子供をやる気にさせ、劣等感を与えない環境であるかが大切です。

スポーツ（運動）そのものを好きになれば、後は子供の可能性は無限大です！逆にきらいになってしまえば、可能性が削られてしまうといっても過言ではありません。まずは、大人が子供たちにスポーツ（運動）を好きになってもらう環境を整え、作り出す事がとっても大切です！

そして好きになってくると『もっと上手になりたい』という向上心や『〇〇君に負けたくない』という競争心が生まれてきます！

成功体験を積み重ね、向上心や競争心が生まれてき時期には、ちょっと難しいことを与えたり、競争させてみると、頑張っただけ練習するようになります。

そして、練習して出来るようになった時に『やればできる』という自信から、自立心が芽生えてきます。

スポーツ（運動）を通して『やればできる』という自信を持ってもらう。これが、一番の目的です！！この目的を達成する入り口が、好きになるという事なのです。

子供たち一人一人成長のスピードは違います。どこで、成長のきっかけが生まれ、どこで大きく成

長するかはわからないものです。私達大人が一人一人の個性を大切にあげ、環境を整え、応援し、見守ってあげる、そんな関わりが大切なのではないかと感じています。

少しでも皆さんの参考になれば幸いです。これからも、東原幼稚園の子供たちにスポーツ（運動）を好きになってもらえるよう、全力で指導して参ります！！

6月の創立記念日に、卒園生の荒木美奈子さんからおたよりをお寄せいただきました。

第69回創立記念日に寄せて



第41回卒 荒木 美奈子
(旧姓 齋藤)

創立69周年おめでとうございます。

この春から息子がももぐみに入園し、毎日大変お世話になっております。

東原幼稚園には、私と3歳違いの妹もお世話になりました。30年ほど経った今でも、当時の楽しい思い出は色褪せることなく、たまに互いの幼稚園のアルバムを見返しては話に花を咲かせることがあります。園庭でのどろだんご作りやお弁当開き、その季節ならではの行事、つきぐみのお泊り会、クリスマス祝会での降誕劇などが特に印象に残っています。

在園中、私は自分の不注意から園庭で2度も腕を骨折するという先生泣かせの子どもでした。手術の際には、先生方がたくさんお祈りしてくださいました。特に「私は、私を強くしてくださる方によって、どんなことでもできるのです」という言葉にはとても励まされ、今でも私にとって大切な言葉です。また、ギプスをして腕を吊っているにも関わらず通園したいと親や先生を困らせていたところ、亡き武田綾子先生が「お母さんの付き添いがあれば大丈夫ですよ」と柔軟な対応をしてくださったとのこと、母からも安心して預けられる園だったと聞き、親になった今、改めて東原幼稚園の「子どもひとりひとりを大切にしてくださる保育」の温かさを感じているところです。

「息子も東原幼稚園に通わせたい」と思い、問い合わせたところ、園長先生が覚えていてくださり、昔のままの笑顔で「幼稚園だけは親が選べるところだよ。美奈ちゃんのいたところと変わっていないから大丈夫！」と力強く仰ってくださいました。信頼のおける先生方がいらっしゃる園で、息子にも私が体験したようなことをたくさん体験して思い出を作してほしいと入園を決めました。

おかげさまで、先生方に見守られ、仲良しのお友達もでき、楽しく園生活を送っている息子の姿を見ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、子どもたちが先生方の愛情に包まれながら、心豊かに成長していくことを心から願っています。

荒木さんは当園の第41回卒園生で、お子さんのゆうたくんは、
現在ももぐみに在園中です。

～荒木様、ありがとうございました～



山鳩同窓会のみなさんの近況を風のたよりで聞いて、一人ひとりのことを覚え、全てをご存知のイエスさまに、それぞれの必要に応じてくださいと祈っています。

- ・大ニュースがあります。同窓会のメンバーが参加して、毎週月曜日に本園を会場に行われているコスモスポーツクラブで、ドッチボール大会がありました。その高学年のチームが全国ドッチボール大会で、なんと、なんと全国 1 位の栄冠に輝いたのです！大きなトロフィーと賞状が安斎先生を通して届けられた時にはびっくりしました。そして、今回この会報に原稿を寄せてくれた 2012 年度卒の桜井真央君が MVP を受賞されました。おめでとう！🏆
- ・東原幼稚園が大好きな先生より寄贈があり、マーガレットホールの正面にステンドグラスノアの箱舟・子どもを愛するイエスさまが設置されました。
- ・東原幼稚園の職員に入れ異動がありました。斉藤純子先生が退職され、柏倉晴香先生加わりました。よろしくお願いします。

【教職員からは「スポーツと私について」または近況の報告】

理事長 鳥居完次：私の小さいときのスポーツに関する思い出は、ひたすら「原っぱでの野球遊び」に尽きます。満足な道具は一切ありませんが、真っ暗になるまで野球で遊びました。この時代の子どもたちを取り巻く環境は、まるで変わりました。しかし、遊びの延長上にスポーツがある構図だけは、大切にしていきたいと思います。

園長 栗野桂子：スポーツ大好きな私はそのエピソードには事が欠きません。小心者だった私は、走ればいつも 1 位、小学 6 年間五小学区の駅伝の選手 etc. スポーツはできた自分は勿論、他者からも認められる活動ですから、自尊感情を形成するにはよい機会と言えるでしょう。大会出場やご褒美は良き思い出です。

副園長・つき組：高内健：私はスポーツ（運動）によって人生の目が開かれました。小学生の頃、担任から母が「けんくんは、授業中、ボーッとしていて勉強がわかっているのかわからないのか、よくわからない。」といつも苦言を呈されておりまして。そんな私に人生の転機が訪れました。小学 4 年生の運動会 100M 走で、いつも負けていた友達をゴール前で抜かし、なんと学年 1 位になったのです。そこから私の全細胞が目覚めたのか、何事にも積極的になり、まるで人が変わったといってよいほどでした。スポーツによって、私は自信をつけ、人生の目が開かれた貴重な経験でした。

つき組 武田ゆき：子どもの頃からスポーツには無縁で、運動が苦手でした。唯一のスポーツの思い出は、小学 6 年生の時にリレーの選手になり市の陸上記録会で走ったことです。このことをきっかけに走ることが好きになったことを覚えています。いろいろな経験をすることは大切ですね。最近は、しばらく休んでいたウォーキングを再開し、体力づくりに心がけています。

つき組 川原子美和：体を動かすことが好きで、これまで駅伝、ソフトボール、弓道、フットサル... 様々なスポーツに関わってきました。最近は、子ども達と遊ぶことでしか体を動かす機会がない、そんな毎日です。いつかはマラソンに挑戦したい！余裕ができれば、弓も引きたいなと思っている今日この頃です。キャッチボールもしたいな♪ と思っているので、キャッチボールできるお友達がいたら、声を掛けてくださ

い。ぜひ一緒にしましょう！

ほし組 中村圭子：自転車に乗るのが大好きです。数年前からは、天気良ければ毎日ロードバイクで通勤しています。ガソリンかからないのも嬉しいです。春と秋は絶好のサイクリング日和ですが、真夏でもロードバイクで走れば自分が風！寒い日もちょっと走れば温かくなりますよ。軽くて速くて、ロードバイク最高です。

ほし組 鈴木佳成子：幼い頃は、家族や友達と毎日のように実家の庭でバドミントンをして遊んでいました。それがきっかけとなって、“たのしそう”という気持ちで高校はバドミントン部に入りました。しかし、練習は鬼のような毎日で、持久力のために毎日のように6kmの長距離を走ったり、瞬発力のために地獄のトレーニングをしたりと、本物のバドミントンは想像以上に大変で過酷な日々でした。でもその3年間を乗り越えたおかげで運動音痴も少しは解消されたかな？と思います。楽しいバドミントンは今でもやはり大好きです。

もも組 鈴木瑠美：運動音痴ですが、中学の部活は卓球部に所属していました。運動量が少なく楽しいイメージでしたが、来る日も来る日も体力作りの毎日で、校舎の外周ランニング10周に始まり、非常外階段1階～3階往復ダッシュを何十セット、校舎内武道館ギャラリランニング何十周、武道館往復ダッシュ何十セットも、腹筋&背筋を何十回もetc... .. 毎日暗くなるまでこんな運動をしていました。ラケットはちょっとしか握らせてもらえなかったなあ。卓球に必要な運動だったとは今でも思えません。運動部って、こんなに大変なのかと思ったことを覚えています、同じ部活で出会った友人とは今でもお友達です。

もも組 柏倉晴香：小学校から高校まで剣道ひとすじでした。中学の頃は顧問の先生が熱血だったので、汗も涙もたくさん流しましたが、一つのスポーツをやり続けることで自信や忍耐力・同級生との強い絆など... たくさんのものを得ました。

もも組・はと組 早坂文子：中学校・高校と卓球部に所属して、毎日卓球で過ごしていました。社会人になってからは、早朝6時から7時までの1時間、会社が始まる前にテニスを習っていました。最近は特に運動をしていないので、ぜひ何かを始めたいと思っています。

ひよこ・はと組 千葉節子：小さいころから運動が苦手でした。小学校の運動会で一度だけ3位に入賞したのですが、欠席のお友達がいて3名で走ったからでした。そんな私でしたが、アタックNo.1というアニメの影響でバレーのユニフォームに憧れて、中学生になるとバレー部で汗を流しました。レギュラーに選ばれることなく、もっぱらボール拾いでしたが懐かしい思い出です。

ひよこ組・事務 佐藤 泉：私は小学生のころから水泳が大好きです。平泳ぎやバタフライが好きなのですが、数年前には東北マスターズ大会にも平泳ぎで参加しました。結果は3位！といっても年代別の競技ですので、私の参加した組は全参加者4名なのでした。

通園バス1号車・畑 遠藤栄一：私は二十歳を過ぎたころから、「登山サークル」に入って山登りをしました。正月に登った“冬山”と夏の“沢登り”をして、「死ぬのか？」と思ったことが2回ありましたが仲間の支えによって助かりました。山の厳しさと素晴らしさを感じ、仲間への信頼、山小屋の主人の温

かさにふれ、神さまへの信仰へと導かれたことを何よりも感謝しています。

通園バス 2 号車 鈴木信行：小さい頃から、スポーツは苦手で、走ればいつもビリか、後ろから数えて何番か。野球は、ポロリ、バレーやバスケットボールはすれば突き指等々何も楽しかったことはなかったような気がする。スポーツは遺伝子影響すると聞いたことがある。特に短距離は影響力大きいらしい。努力も足りなかったのでしょうか。父から、「泳ぐことと、自転車に乗れるように練習しなさい。」と言われて、川で父から訓練を受けて泳げるようになりました。父曰く、災害に備えるために。小さい時から自転車に乗れるようになった。備えるスポーツも重要だ。楽しく行うことが大事。でも、プロスポーツ選手は天才だと思う。何倍も努力しているでしょうが。

【幼稚園からのお知らせとお願い】

- ♪ 幼稚園説明会（度幼稚園に入園を検討されている方対象）を行ないます。 8 月 17 日（土）10：00～です。詳細はHPをご覧ください。
- ♪ 2020 年度の園児募集は 8 月 20 日から始まります。同窓生の弟妹・お子さん・お孫さん初め、友人・知人で対象の方がいらっしゃいましたら、ご案内下さい。詳細はHPをご覧ください。
- ♪ 幼稚園の働きを更に多くの方々に知っていただくために、幼稚園のポスターの掲示や案内パンフレットを置かせていただけたところを探しています。お勤め先（飲食店、会社、医院等）などでご協力いただける方は園までお知らせ下さい。
- ♪ 未就園児親子教室「エンジェル広場・エンジェルベビー」開催中です。ご参加をお待ちしています。詳細はHPご参照下さい。
- ♪ 幼稚園のHPやブログは随時更新中です。ぜひご覧ください。Facebook、Instagramもしています。

※ 事務局 より ご 案 内 ※

会員の皆さまにはお元気でご活躍のことと存じます。

今年も新会員28名【69回卒】を迎え、会員総数3,748名となりました。

【役員交代】

- ♥ 6年間お世話になりました。一緒に楽しく参加させていただきました。

ありがとうございました。

石向 厚子さん、紺野 文さん

- ♥ 今年から役員をさせていただくことになりました。6年間よろしくお願いします。

加藤 真琴さん、須藤 なおみさん

【会員報告】

☆ 新会員... 28名 ☆ 会員数... 3,748名

☆ ご連絡先が変更になった方はお手数ですが事務局までお知らせください。

【編集後記】

ホームページ（HP）での会報発行が3年目となりました。

同窓生の皆さまや先生方のご協力により、今年も無事発行できますことを感謝申し上げます。スマホやパソコンから気軽にアクセスして、時間のあるときにいつでもご覧いただけると幸いです。懐かしい同窓生の仲間や、幼稚園の先生方の様子に触れ、東原幼稚園を楽しく思い出せますようお願いしております。ご意見ご感想、今後取り上げてほしいテーマなどありましたら、事務局 k.higasi@ceres.ocn.ne.jp までお寄せください。皆さまのますますのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

★ 会報担当者★ 伊藤・三坂・加藤・須藤・栗野